

大切なうつわを長く使い続けるための知識と方法を身につけましょう！



うつわにヒビのようなものが！



それは「貫入」かんにゅうじゃ。土と釉薬の膨張収縮の差を利用した装飾技法じゃ。使用前に水にくぐらせれば、油污れなどの染み込みを予防できるぞ。



うつわにスプーンの跡が！



それは「メタルマーク」じゃ。金属が削れてうつわの表面に付着したのじゃ。市販のメタルマーク除去剤や、酸に浸して溶かせば落ちるぞ。



うつわが欠けちゃったよ～！



「金継ぎ」きんぎというな、日本古来より伝わる伝統的な復元方法があるぞ。欠けた部分に漆を塗り、金粉をまいて補修するのじゃ。ハイカラじゃろう。



あれ？ ひとつだけ色が違う！



同じ釉薬でも、焼き方や炎の作用によって複雑で微妙な色の違いが出るのじゃ。やきもの個性であり、楽しみ方のひとつじゃ。



博士のワンポイントアドバイス！！

うつわを長く使うコツ それは『うつわを愛でる気持ち』

「うつわを愛でる」とは、風合いの変化を楽しみながら、うつわを育てるように扱うことじゃ。手をかけてやるほど愛着が湧いてきて、長く使うことができるはずじゃよ。

1月1日  
博士

## 市長の部屋から

5月31日(水)

市内の8つの幼稚園などから推薦を受けた94人の母親の皆さんに「交通安全女性」を委嘱しました。交通安全女性の皆さんには、登園時の街頭指導や、各園での交通安全教室のお手伝い、啓発運動への参加など、今後1年間にわたりさまざまな活動に協力していただきます。



私にも子どもが3人いますが、自分の子育てを振り返ってみても、ヒヤッとするような場面が何度もありました。小さな子どもは好奇心旺盛で何にでも興味を示し、その行動を予測することはなかなか難しいものです。お子さんの行動には日頃から注意を払っていただくとともに、今後一人で行動する機会が増えても自分で交通ルールを守れるよう、ご指導をお願いします。

引き続き皆さんと共に交通事故の少ない社会を目指してまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。

土岐市長 加藤靖也

